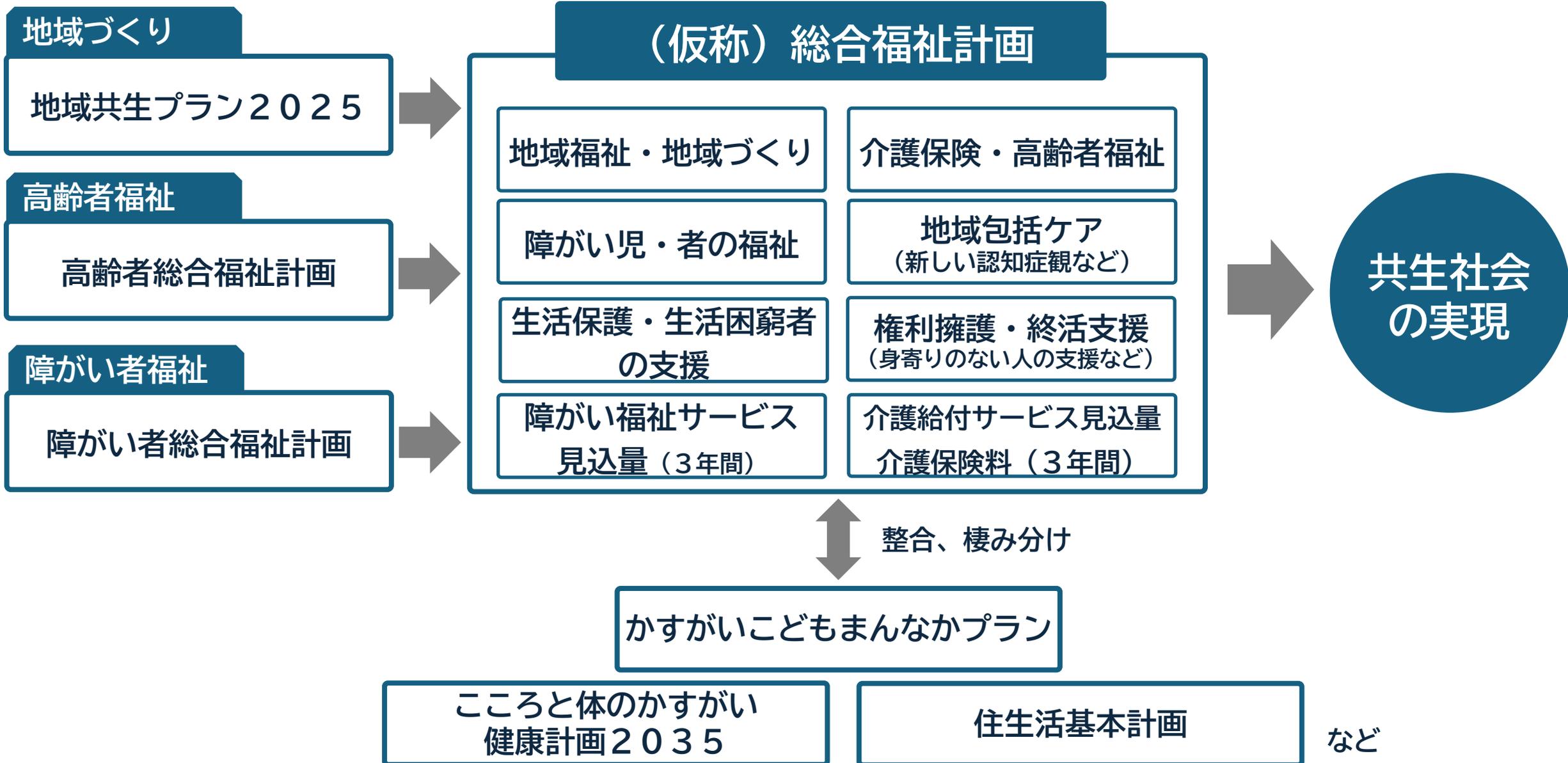


(仮称) 春日井市総合福祉計画について

(仮称) 総合福祉計画のイメージ



目標

地域共生社会の実現

人生百年時代『ゆりかごから墓場まで』のライフサイクルにおける
ふつうの暮らしを包括的に支援

期間

2040年を見据えた上で、2027～2032年の6年間

範囲

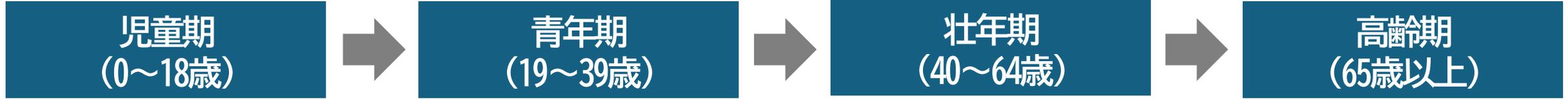
地域福祉、介護保険・高齢者福祉、障がい者福祉、地域包括ケア、
生活保護・生活困窮者の支援、権利擁護・終活支援など

※ 当事者やその家族、世帯全体にアプローチ

プレイヤー

市民（当事者、地域住民、地域団体など）、民間事業者（医療・介護・福祉事業者、NPOなど）、
社会福祉協議会、市など

ライフサイクルの包括的なサポートに向けて



人生百年時代に『ゆりかごから墓場まで』住み慣れた場所で自分らしく生活できるまち

権利が守られる安心

在宅生活が安心

住まいが安心

経済的に安心

参加できる安心

終活が安心

持続可能なサービス提供体制の確保

- ・ 一律給付を見直し、新たなニーズに応じた個別施策を検討
- ・ 施設、事業所等の適正なサービス確保
- ・ 支給基準の見直し検討

誰もが輝く地域づくりの推進

- ・ 地域資源の発掘
- ・ 地域団体・NPOの育成等
- ・ 障がいに対する理解の促進
- ・ 新しい認知症観の共有

地域を支える人材の確保

- ・ 医療・介護人材の確保
- ・ 医療・介護・福祉関係者の連携の促進
- ・ 地域人材の育成

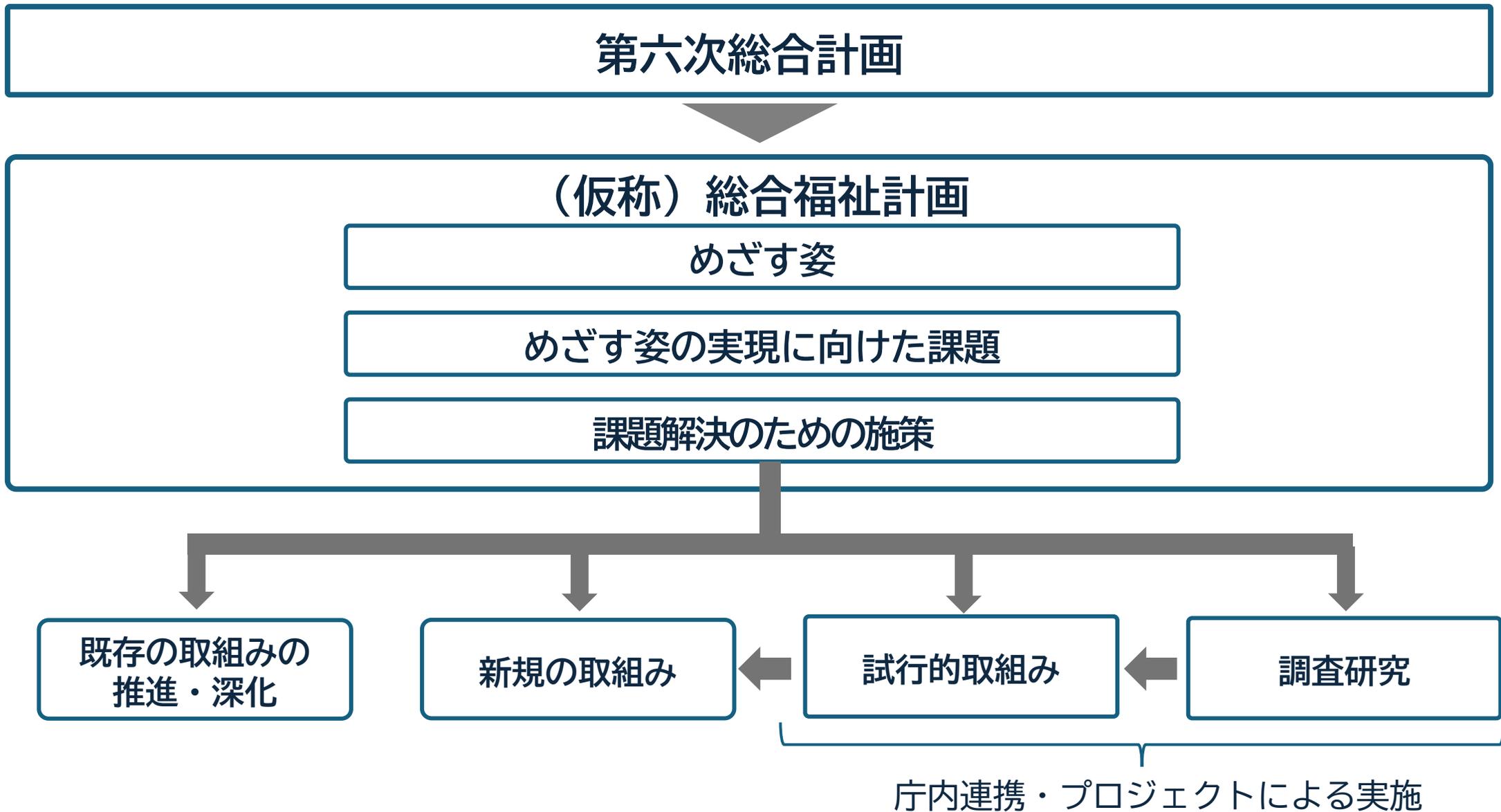
包括的支援体制の強化

市福祉専門職の育成、多職種・多機関連携の推進、気づきの目、つなぐ力の強化、重層的支援体制整備

計画を推進する庁内体制の確立

福祉政策課と福祉現場、庁内各課が課題を共有し、解決に向け連携

計画に基づく施策の実現プロセス



○ 介護人材不足の実態把握

➡ まずは実態調査を予定。施策に繋げることができるかを検討

○ 発達障がいのある人の実態把握

➡ 支援機関、サービス利用のニーズと実態はどうなっているか？

○ 日常生活における移動支援の必要性

➡ 買い物、通院、趣味活動？

○ 介護保険サービス・障がい福祉サービスの給付費の見える化

➡ 適正なサービス提供体制の確保の観点から、何にどれだけ支出しているかを整理

1 目的

(仮称) 総合福祉計画の策定に向けた基礎資料を取得する。

- ・ 当事者のニーズ
 - ・ 市民の意識
 - ・ 施策の効果検証
- 数値として把握する

2 調査方法

郵送またはインターネット

3 実施期間

令和7年12月1日~12月19日

4 対象者

65歳以上 要支援・要介護認定者	1,000 人
上記以外の者	800 人
障がいのある人 (身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、 障がい児、難病患者及びその家族)	2,000 人
65歳未満・障がい者手帳なし	450 人